

2016年4月27日

「成田ハブ化促進インセンティブ」の状況について

成田空港では空港容量 30 万回化を契機に、国際線及び国内線ネットワークの更なる拡充と既存路線の増強を目的として、2015 年 4 月から着陸料が最大で1年間無料となる「成田ハブ化促進インセンティブ」を導入しています。これは、2013 年 4 月の国際線着陸料正規単価の引下げ(▲100円/ト)及び国際線着陸料増量割引の導入に続くものです。

このたび、2015 年度の実績がまとまり、割引額が決まりましたのでお知らせいたします。

■2015 年度の割引総額：14.3 億円(56 社に割引を実施)

(内訳)

● 国際線

- ネットワーク拡充割引：2.7 億円(19 社、航空会社初 29 路線、うち空港初 10 路線)
- 増 量 割 引：9.9 億円(51 社、新規就航、路線開設、増便、機材大型化による重量の増加)

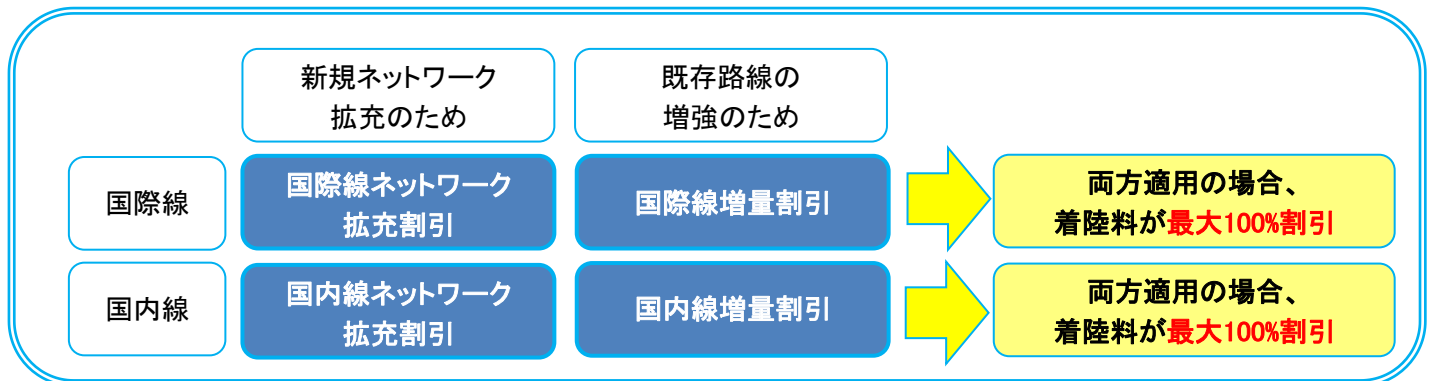
● 国内線

- ネットワーク拡充割引：0.3 億円(1 社、航空会社初 3 路線)
- 増 量 割 引：1.4 億円(5 社、路線開設、増便による着陸料の増加)

2015 年度は、国際線において、新規乗り入れ航空会社が 9 社となった他、多くの航空会社に新たな路線の開設、既存路線の増便等を行っていただきました。この結果、「成田ハブ化促進インセンティブ」の導入初年度ではありますが、特に国際線ネットワーク拡充割引においては、航空会社初として 29 路線、そのうち空港初が 10 路線(100%割引のエチオピア航空[アディスアベバ線]他を含む)となるなど、成田空港の航空ネットワークの拡充・増強がなされました。

引き続き、「成田ハブ化促進インセンティブ」を活用し、国内外のお客さまに一層バラエティに富んだご旅行の選択肢を提供できるよう、就航都市数や就航便数のさらなる充実を図って参ります。

■成田ハブ化促進インセンティブの概要



国際線／国内線ネットワーク拡充割引

(1)制度概要

国際線／国内線定期便としての運航実績のない空港(路線)に、航空会社が新規就航した便の着陸料を割り引くとともに、その路線が、成田空港と定期便で結ばれていない空港の場合は、更に割引率を加算いたします。割引率は、下記のとおり2段階とし、2年間適用いたします。

(2)内容

- ・対象便：国際線／国内線定期便
- ・適用単位：旅客便、貨物便毎に航空会社としての新規路線及び成田空港としての新規路線
- ・割引率

	1年目	2年目
航空会社としての新規路線	20%	10%
成田空港としての新規路線	30%	15%
計	50%	25%

国際線／国内線増量割引

(1)制度概要

国際線においては累積重量、国内線においては累積着陸料が、前年度同期比で増加した場合、その増加分に対して50%の割引を適用いたします。

(2)内容

- ・対象便：国際線／国内線定期便
 - ・適用単位：航空会社単位(旅客便と貨物便は合算して算出)
 - ・単位期間：1年間を上期(4～9月)と下期(10～3月)に分け、各期における累積着陸料を前年同期と比較
- ※国際線増量割引は、2013年4月1日から実施しています。

■制度実施期間:2015年4月1日～2018年3月31日(3年間)